【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-518880(P2015-518880A)
【公表日】平成27年7月6日(2015.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2015-043
【出願番号】特願2015-515647(P2015-515647)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/473　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/32　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/36　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/22　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/167　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/445　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/245　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/46　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/192　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5415　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/196　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/407　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/60　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/415　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/573　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/42　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/473
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　15/10
Ａ６１Ｐ　25/32
Ａ６１Ｐ　25/36
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　9/08
Ａ６１Ｋ　9/06
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/22
Ａ６１Ｋ　47/20
Ａ６１Ｋ　47/02

Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/167
Ａ６１Ｋ　31/445
Ａ６１Ｋ　31/4704
Ａ６１Ｋ　31/245
Ａ６１Ｋ　31/46
Ａ６１Ｋ　31/192
Ａ６１Ｋ　31/5415
Ａ６１Ｋ　31/196
Ａ６１Ｋ　31/407
Ａ６１Ｋ　31/60
Ａ６１Ｋ　31/415
Ａ６１Ｋ　31/573
Ａ６１Ｋ　47/42

【手続補正書】
【提出日】平成28年6月3日(2016.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アポモルヒネと、酸性アミノ酸と、薬学的に許容可能な担体とを含み、アポモルヒネと酸性アミノ酸とのモル比が１：０．５～１：２．５である、液状または半固形状医薬組成物。
【請求項２】
アポモルヒネと酸性アミノ酸とのモル比が１：１～１：１．５である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
酸性アミノ酸がアスパラギン酸、グルタミン酸、またはその組合せである、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
ｐＨが３より大きい、請求項１～３のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項５】
２５℃でｐＨが３．０～５．５、または４．０～７．５である、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】
２５℃でｐＨが３．５～５．０、３．５～４．５、または４．０～５．０である、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項７】
少なくとも１重量％のアポモルヒネを含む、請求項１～６のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項８】
１～４重量％のアポモルヒネを含む、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項９】
２５℃で少なくとも４８時間、実質的に固形物を析出しない、請求項１～８のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項１０】

水性である、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
さらにアミノ糖、塩基性アミノ酸、１以上の抗酸化物質、またはそれらの組合せを含む、請求項１～１０のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項１２】
アミノ糖がメグルミンである、もしくは塩基性アミノ酸がアルギニン酸である、または１以上の抗酸化物質がアスコルビン酸、アスコルビン酸ナトリウム、Ｌ－システイン、Ｎ－アセチルシステイン（ＮＡＣ）、グルタチオン（ＧＳＨ）、Na_2－ＥＤＴＡ、Na_2－ＥＤＴＡ－Ｃａ、または亜硫酸水素ナトリウムからそれぞれ独立に選択される、請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
さらに界面活性剤を含む、請求項１～１２のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項１４】
界面活性剤がＴｗｅｅｎ８０である、請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
さらに局所麻酔薬および／または抗炎症剤を含む、請求項１～１４のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項１６】
局所麻酔薬が、アミド型の局所麻酔薬、またはエステル型の局所麻酔薬であり、抗炎症剤が、非ステロイド系抗炎症剤、またはステロイド系抗炎症剤である、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
前記のアミド型の局所麻酔薬が、リドカイン、プリロカイン、ブピバカイン、レボブピバカイン、ロピバカイン、メピバカイン、ジブカイン、もしくはエチドカインであり、前記のエステル型の局所麻酔薬が、プロカイン、アメトカイン、コカイン、ベンゾカイン、もしくはテトラカインであり、前記の非ステロイド系抗炎症剤が、ジクロフェナク、ケトロラク、サリチル酸イブプロフェン、ピロキシカム、もしくはベンジダミンであり、または前記のステロイド系抗炎症剤が、プレドニゾン、デキサメタゾン、ベータメタゾン、プレドニゾンヒドロコルチゾン、もしくはそれらの塩である、請求項１６に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
皮下投与、静脈内投与、経鼻投与、経皮投与、舌下投与、筋肉内投与、経口投与、点眼、または気管内投与用に調合されている、請求項１～１７のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項１９】
神経学的もしくは運動性の疾患もしくは障害、またはそれらに関連する状態の治療のための、請求項１～１８のいずれかに記載の液状または半固形状医薬組成物。
【請求項２０】
前記の神経学的または運動性の疾患または障害が、パーキンソン病、アルツハイマー病、または無動症であり、該神経学的疾患または障害に関連する前記の状態が、アルコール依存症、アヘン中毒、または勃起障害である、請求項１９に記載の液状または半固形状医薬組成物。
【請求項２１】
パーキンソン病治療のための、請求項２０に記載の液状または半固形状医薬組成物。